

2017・広大マスタース市民講座報告

「東広島を楽しくスケッチしよう」 (安芸津編)

難波平人

日時：10月31日(火)、11月7日(火)、14日(火)、21日(火)

いずれも 13:30～15:00

参加人数：定員の30名

第1回目と第2回目

安芸津生涯学習センターホールに集合し、構図の決め方、着色の要領などを話した後、俯瞰的視点として金山地区の高台から家並みを見下す場所を選定。構図を決め、形を取り紙の白を生かす方法などで彩色し完成させた。

第3回目と第4回目

浜地区集会所前に集合し、空間や明暗表現、生活感が大切であることを話し、近い視点からの港のスケッチを行った。よく観察すること、感動した部分をしっかり描くことなどを主眼に制作し完成させた。

4回とも、スケッチした絵が生き生きしていることを目標に制作した。水彩、アクリル、油絵の具使用を自由とした。

東広島ケーブルメディア(カモンケーブルテレビ)が4日間始終、取材し、それを2月中に放映の予定である。30人の参加者は一人2点の作品を完成させた。60点の作品を2018年3月28日(水)～4月2日(月)まで“くらら”の東広島市民ギャラリーで、「東広島を楽しくスケッチしよう」展として開催する。

参加者からは、一人でスケッチをすることは勇気がいるがみんなで並んで実施したことで刺激になり楽しくできた、また、よく見て描くことで自然の美しさや郷土の美しさを再確認できたとの声を多く聞いた。

